

CASBEE-建築(新築)2016年版  
カネキ本社工場建設計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	Q1		Q2		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q1 建築物の環境品質</b>			0.30		3.0	3.0
<b>1 音環境</b>		3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル		-	-			
1.2 遮音		3.0	0.67			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00			
2 界壁遮音性能		-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-			
1.3 吸音		3.0	0.33			
<b>2 温熱環境</b>		3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38			
2 外皮性能		3.0	0.25			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38			
2.2 湿度制御		3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		2.7	0.25			2.7
3.1 昼光利用		3.0	0.30			
1 昼光率		3.0	0.60			
2 方位別開口		-	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		2.0	0.30			
1 昼光制御		2.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		4.0	0.25			4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50			
1 化学汚染物質	内装材はホルムアルデヒド放散等級区分「F☆☆☆☆」又は規制対象外	5.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.30			
1 換気量		3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33			
4.3 運用管理		3.0	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		3.0	0.50			
<b>Q2 サイバース性能</b>			0.30			3.0
<b>1 機能性</b>		3.0	0.40			3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40			
1 広さ・収納性		3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30			
1 広さ感・景観		3.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33			
3 内装計画		3.0	0.33			
1.3 維持管理		3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		3.0	0.30			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			
2.4 信頼性		3.0	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		3.0	0.20			

<b>3 対応性・更新性</b>			3.3	0.30				3.3
3.1 空間のゆとり		居室天井高10.98mのゆとりがある。	4.2	0.30				
1 階高のゆとり			5.0	0.60				
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.0	0.40				
1 空調配管の更新性			3.0	0.20				
2 給排水管の更新性			3.0	0.20				
3 電気配線の更新性			3.0	0.10				
4 通信配線の更新性			3.0	0.10				
5 設備機器の更新性			3.0	0.20				
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20					
<b>Q3 敷外環境(敷地内)</b>				0.40				3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30				3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30				3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50				
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>								2.9
<b>LR1 エネルギー</b>				0.40				3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制								
2 自然エネルギー利用								
3 設備システムの高効率化		[BE][BEfm] = 0.70						
4 効率的運用			3.0	1.00				3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00				
4.1 モニタリング			3.0	0.50				
4.2 運用管理体制			3.0	0.50				
集合住宅の評価								
4.1 モニタリング								
4.2 運用管理体制								
<b>LR2 材料(マテリアル)</b>				0.30				2.7
1 水資源保護			3.0	0.20				3.0
1.1 節水			3.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70				
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60				2.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20				3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		クロルビロホスを添加した材料は使用しない。	4.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70				
1 消火剤								
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	1.00				
3 冷媒								
<b>LR3 敷外環境</b>				0.30				3.0
1 地球温暖化への配慮								
2 地域環境への配慮			3.0	0.50				3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25				
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25				
3 交通負荷抑制			3.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			3.0	0.50				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1 騒音			3.0	0.33				
2 振動			3.0	0.33				
3 悪臭			3.0	0.33				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40				
1 風害の抑制			3.0	0.70				
2 砂塵の抑制								
3 日照障害の抑制			3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			3.0	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70				
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30				